

大生上

高野大師行狀圖畫第三

渡天見佛

在唐入壇

珍賀怨念

守敏護法

道具相傳

惠果入滅

惠果影現

投擲三鈷

著岸上表

渡天禮拜釋尊事

大師在唐ノ時ツ子ニリヤウ世常靈山ニイタリテリンヨウ如來ノ真容ヲヲカミ

奉ラン事ヲ子カハセ給ヒケルニア或時一人ノ神童シンドウキタ

レリ。ソノスカタハナハタアヤシ。ヨノツ子ノ人ニアラスイ靈

異アツテ。ヨク人ノ思フ處ヲレレリ。大師ヲス、メテイ靈山

ニ衆ラセ給ヘト云。大師ノ、タミハタイ流沙リカサ慈嶺ノサ

三千人。人ノアヒタラヘタテタリイカテカ。タヤスクイタ
 ランヤト。ソノ時ニ白馬クバタチ二千ニ來ル。カサレルクララケリ
 神童シトウ。大師ヲ奉リテ。此馬ニノリ飛カコトクシテ。流
 沙サヲ渡ル。次ニ青羊セイヤウノ長タチ七八尺ハカリ。高タカ廿六七尺ナル有
 廿キノコトククララケリ。又コレニノリウツリテ葱嶺ソウリョウノ
 ケハシキヲコフ。其後飛車ヒヤ有。夜ヤ又神シ是ニソヘリ。又是ニ
 ノリウツリテ。則靈山リョウセンノフモトニ至リ又。其時老翁ラウオウ出來テ。
 ナンチハイツクノ人ゾ。又イツチヘカユク。何事ヲカモトム
 ルト云。大師ニタヘ給ハク。我靈鷲リョウリョウ山センニ。ノホランカタメニ
 支那國シナコクヨリ來レリ。釋尊シヤクソンヲ。ヲカニ奉ラシ事ヲ。ノソム
 ト。給フ。老翁ラウオウノ云。ナンチカニナクニ異相イサウアリ。サタメテ也
 ヲ三奉ラニカタメナルヘシ。但佛滅年ブツメツトシヲヘタリ。タヤスク
 カンケンシカタシ。モツハラ生佛キヤウブツ不フニノ觀クワンヲナサハ。蓋障カクシヤウ
 ヲハラツテ佛身ブツシヲ拜見ハイケンセンカ。時ニ山ノヒ、ク事ウシヤツ雲中
 ノ雷ライノコトシ。微風ビフウアフヒテ樹キヲウユカシ。地チフルフ事。水
 上ノフ子ニ、タリ。香雲谷カウウンタニニ三テリ。タチ三千ニ此相シヤウヲミテ。
 身心シンシン適悅シヤクエツス空中クウウチウニ。一ノ鉢ハチ有テ。光リヲハナチテ。道ヲシ
 メス。光リニ隨ヒテ。山ノイタ、キニ。ノホルスナハチ釋尊シヤクソン儼然ゲンゼン
 トシテ。座シ給ヘルヲ三奉ル。觀音クワンオン左ニサフラヒ。虚空藏クウウサウ右
 ニ座シ給ヘリ。八万ノ大士ダイジ。二千ノ聲聞シヤウモン。威神イジン儼肅ゲンソクニシテ。

三千人。人ノアヒタラヘタテタリイカテカ。タヤスクイタ
 ランヤト。ソノ時ニ白馬クバタチ二千ニ來ル。カサレルクララケリ
 神童シトウ。大師ヲ奉リテ。此馬ニノリ飛カコトクシテ。流
 沙サヲ渡ル。次ニ青羊セイヤウノ長タチ七八尺ハカリ。高タカ廿六七尺ナル有
 廿キノコトククララケリ。又コレニノリウツリテ葱嶺ソウリョウノ
 ケハシキヲコフ。其後飛車ヒヤ有。夜ヤ又神シ是ニソヘリ。又是ニ
 ノリウツリテ。則靈山リョウセンノフモトニ至リ又。其時老翁ラウオウ出來テ。
 ナンチハイツクノ人ゾ。又イツチヘカユク。何事ヲカモトム
 ルト云。大師ニタヘ給ハク。我靈鷲リョウリョウ山センニ。ノホランカタメニ
 支那國シナコクヨリ來レリ。釋尊シヤクソンヲ。ヲカニ奉ラシ事ヲ。ノソム
 ト。給フ。老翁ラウオウノ云。ナンチカニナクニ異相イサウアリ。サタメテ也
 ヲ三奉ラニカタメナルヘシ。但佛滅年ブツメツトシヲヘタリ。タヤスク
 カンケンシカタシ。モツハラ生佛キヤウブツ不フニノ觀クワンヲナサハ。蓋障カクシヤウ
 ヲハラツテ佛身ブツシヲ拜見ハイケンセンカ。時ニ山ノヒ、ク事ウシヤツ雲中
 ノ雷ライノコトシ。微風ビフウアフヒテ樹キヲウユカシ。地チフルフ事。水
 上ノフ子ニ、タリ。香雲谷カウウンタニニ三テリ。タチ三千ニ此相シヤウヲミテ。
 身心シンシン適悅シヤクエツス空中クウウチウニ。一ノ鉢ハチ有テ。光リヲハナチテ。道ヲシ
 メス。光リニ隨ヒテ。山ノイタ、キニ。ノホルスナハチ釋尊シヤクソン儼然ゲンゼン
 トシテ。座シ給ヘルヲ三奉ル。觀音クワンオン左ニサフラヒ。虚空藏クウウサウ右
 ニ座シ給ヘリ。八万ノ大士ダイジ。二千ノ聲聞シヤウモン。威神イジン儼肅ゲンソクニシテ。

二七
ヲノク集會ニツラナル。見佛ノカニヨツテ。大師
ニ除蓋障三昧ヲ得給フ。如來告テノタニハク。
汝ムカシ徳本ヲウヘテ。今又值遇セリ。我内證
秘密是ヲ學テ。法ヲレロメ。生ヲ利スル事。ハ
ルカニ後佛ノ出世ニ傳フヘシ。旋遶禮拜シ長跪
合掌シテ。ツ、シムテ此教勅ヲ請テ。更ニ山ノ
麓ニ歸ル。本ノコトク。飛車。青羊。白馬有テ。
ホトナク。唐土ノ西明寺ノ故院ニ歸ル。其間七
日七夜。口ニ自然ノ甘露ヲナメテ更ニ飢氣ナレ
トイヘリ此事法道和尚ノ記ニ三ニヘタリ

渡海祈願事

大師渡唐ノ時。風波ヲイノラムカタメニ。三ツカフ
白菴ノ藥師如來ノ像ヲ作り給ヘリ。今仁和寺
喜多院ノ本尊是ナリ。昔ハ西蕃万里ノ絶域ニ
赴キテ。擁護ヲ東土ノ教主ニアフキ。今ハ東寺一
流ノ法水ヲタ、ヘテ。靈像ヲ西郊ノ仁祠ニト、ム
其本縁ヲ思フニ。カシルイソラニモヨホス。又海上
擁護ノタメニ。般若心經百卷書給ヒテ。宇
幡宮ニヲサメラル、事アリケリ



大師御入唐事

其後イヨク入唐ノ。御コ、ロサレフカシキウカウ
 ノ鶴ノ聲天ニ聞エヤスキコトハリナレハ。ツイニ
 桓武天皇ノ御宇。延暦廿三年五月十二日。大師
 御年三十一ニシテ。留學ノ勅命ヲ兼リ。ケンタウ
 シ。正三位越前ノ國。前ノ大守藤原ノ朝臣賀
 ト俱ニ。第一ノ船ニ乗給ヒヌ。ステニ花洛ヲ出筑
 紫ニ下リ給ヒケリ。肥前ノ國松浦ト云所ニテ
 フナヨソヒレツ。ハルカニ滄海ノ。西ニツウカヒ
 給ヒケル







大帥御入壇事

西明寺ニ住シ給ヒテ後アミ子ク城中ニ遊テ名徳ヲ尋ルニ青龍寺ノ惠果和尚ト云人イマス此和尚ハ大興善寺不空ニ蔵ノ御弟子真言ノ大祖大日如來ヨリ七葉ノ嫡弟ナリ。二代ノ御門モ灌頂ノ受四輩ノ弟子

密蔵ミツゾウヲテラフ。德行トクギヤウ共ニソナハリテ、人天ノ師ト云ツヘシ。
 大師此事ヲ聞テ、西明寺ノ僧志明談勝等ノ五六人ヲ
 伴トモヒテ、青龍寺惠果和尚ノ御許ミヤコニ詣ケイシ給ヒ又、和尚大
 師ヲ三給ヒテ、咲エミヲ含ノクテノタニハク。我先ヨリ汝ナニチカ來ル事
 ヲ知テ、相待事久シ、來ル事、何ソヲソカツ、ル。今日既ニ相
 見ル事、是大ナル悦ヨロヨヒナリ、報命ホウメイ既ニツキナントス。
 法ヲ傳ルニ人ナシ。汝スミヤカニ香花ヲト、ノヘテ。灌
 頂キョウタンノ壇ニ入ヘシト。宜ヨクヒケリシニ、人舌シタヲフリ。聞モノ耳ヲ
 ラトロカサスト云事ナシ。及歸此事ヲ悦ヨロコビテ、香花ヲト
 トノへ道場ダウジョウヲカサリツ。六月上旬ニ胎藏タイサウノ灌頂クワンタンヲ受
 七月上旬ニ金剛界ノ職位シヤウイヲウケ。八月上旬ニ傳法阿闍ニニホウ
 梨リノ灌頂ヲ受。此時五百僧ノ齊會サイエヲマフケテ、アミナシク
 四衆シユウニ施ホトクシ給ヒシカハ、青龍寺大興善寺ノ大德皆其
 筵ヒシロニノソムテ、悉隨喜コトククスイキセリ。其後五部ノ真言シニゴン諸尊、
 密契ミツケイ梵字ホンジ讚等サンヤウ、悉ク學マナシテノコル事ナシ。餘人ハ積ツキ
 年ネンノ功コウヲイタシテモ、學マナシヒカタシ。大師獨ヒトリ旬時ジュンジニ傳ツクヘ
 テ、勞ラウヲナス事ナシ。サレハ唐土タウトノ吳殷ニカ、暮カ慕ボニ云ク
 此沙門ハ是凡徒ホニニ非ス。三地ノ菩薩也。内ニハ大乘オホニ
 ノ心ヲ秘ヒシシ。外ニハ小國ノ沙門ノ相アヒヲ示スト。ホメタリ
 和尚モ三地ノ菩薩トリトノ給ヒケルトカヤ

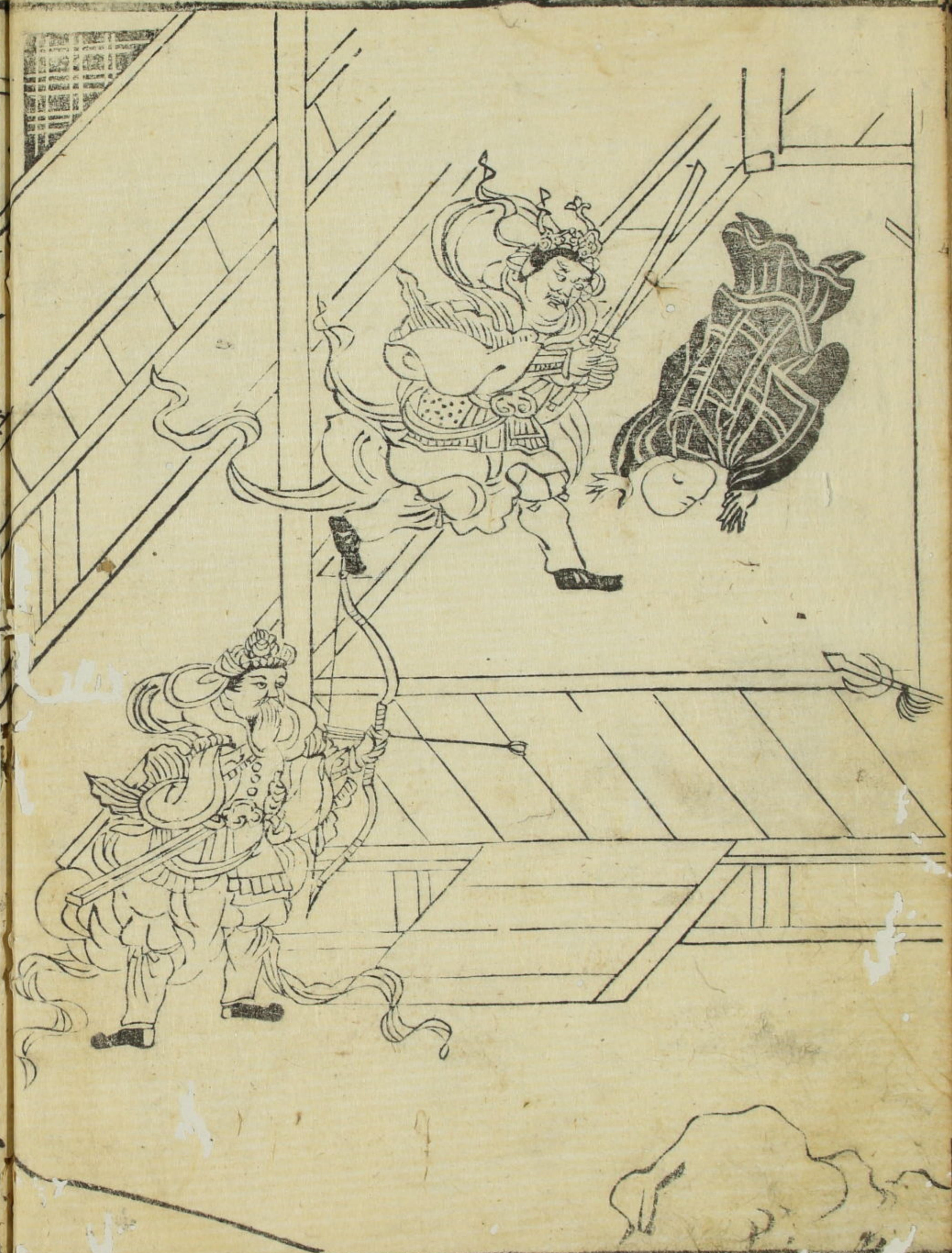




珠賀怨念事

惠果ノ御相弟子ニ順曉阿闍梨ト云人アリケリ。
 彼阿闍梨ノ弟子ニ。玉堂寺ノ僧珠賀ト云人有。
 大師ノ受法残りナキ事ヲ心イタクヤ思ヒケシ。
 和尚ニ申ケルハ。日本ノ座主タトヒ。聖人ナリ共。
 門徒ニアラス。只顯教ヲサツケ給フヘシ。何ソ輒ク。
 密教ヲ授ケント擬シ給フヤト。イサメ申事度々
 也。カ、リケル程ニ。珠賀有夜ノ夢ニ。四天王來リテ。
 サシ、ニ降伏スルトニ。珠賀アセヲ流シ。其朝ニ急キ
 大々ノ御モトニ來テ。礼拜シツ、ソノトカラ謝シ申
 ニ云我ヲロカニシテ。聖人ノ御受法ヲ妨ケキ。然ニ今夜
 夢ノ中ニ冥ノ世メヲカウフレリ。今ヨリハ其心ヲヒルカヘシテ。
 聖人ニ歸シ奉ルハヤク其咎ヲ元シ給ヘトソ申ケル





守敏遣護法事

又南京ノ山階寺ニ。守敏僧都ト云人有ケリ。
 年戒共々ケテ。薰修日ツモリタリケレハ。事ニ
 フレテ。大師ノ名望ヲソ子ニ奉リキ。大師渡海
 求法ノ間。ヒソカニ護法ヲ遣シテ。傳法ヲウカ、
 ヒキカシム。胎藏界ノ大法ヲ傳授シ給フ時。護
 法是ヲ聞テ。守敏ニカタル。大師是ヲシリ給ヒ
 テ。金剛界ノ大法ヲ受給フ時。是ニ盜法ノ者日
 ト子ノ。結果シ給ヒシカハ。護法近付事ヲ得テ成

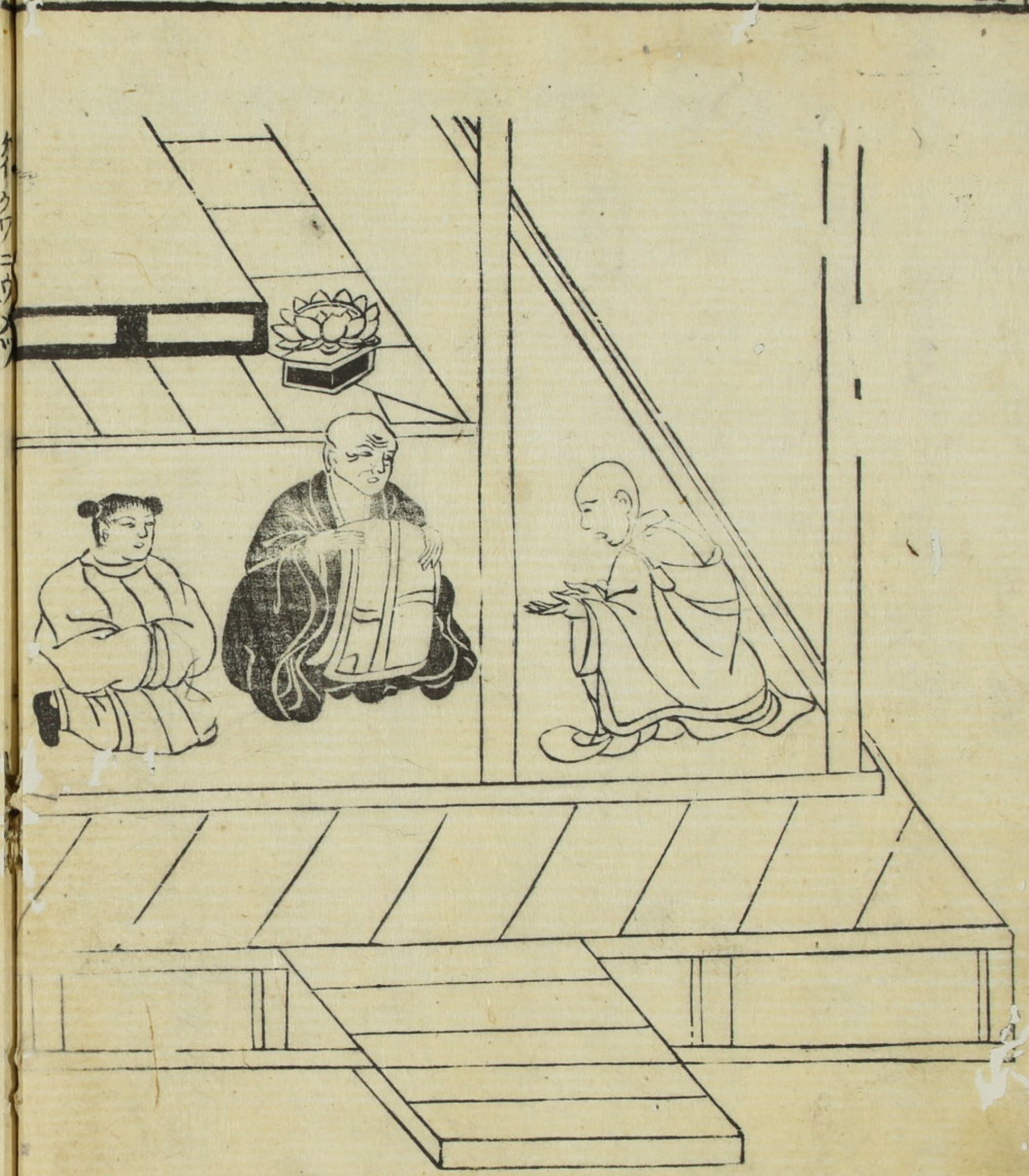
ニケリ



道具相傳事



惠果和尚遷化ノ期漸ク近付テ。師資相傳ノ物悉ク
 大師一附属シ給ヒケリ。和尚ノ云此兩部ノ大法。一百
 餘部ノ金剛乘ノ法。及三藏傳付ノ物。并ニ供養ノ具等。
 汝頂戴シテ。海内ニ流傳スヘシト。遺誠シ給ヒケレハ。大師
 此命ニ隨ヒツ。相兼ノ物悉ク傳へ給ヒヌ。ツノ中ニ佛舎
 利八十粒ノ内。金色ノ舍利一粒。鍵陀穀子ノ袈裟。其
 外ニ是傳法印信。万生ノ歸依ナル物ナレハ。一モカ
 カラス。大師是ヲ流傳シテ我朝秋津嶋ニトメ。國
 ノニモリトシ給フ事。善巧方便貴ムヘシ。敬ノヘシ



惠果入滅事

和尚既ニ入滅セントセシ時。顧命シテ大師ニ告テノ
 給ハク。我今此土ノ縁ツキテ。留ル事アタハス。金剛
 界大悲胎藏。此兩部ノ大教ハ諸佛ノ秘藏。即牟
 成佛ノ徑路也。法界二流傳ニテ。有情ヲ度脱セン事
 ヲ願フ。訶陵ノ弁弘ト。新羅ノ惠日トニハ。胎藏ノ
 師位ヲ授ク。劔南ノ惟上ト。河北ノ義圓トニハ。金剛
 界ノ大法ヲ傳ヘ。義明供奉ニハ。兩部ノ大法ヲ授ク。
 今汝ニハ。兩部秘奥壇儀印契。漢梵タカフ事ナ
 ス。悉ク授ケ畢ヌ。同シ瓶ヲウツス。ヨトシ。日出ル

時二月入。油盡又レハ燈トモキユルハ、モト常ノユト
 ハリ也。菩薩モト、ニラス。如來モ既ニ滅ス。我又
 真ニ歸ルニナシ。ハルカニ汝カキタルヲニテ。命ノタヘム
 事ヲ。ヲツレキ。今既ニ付法ホウヲハリ又。我願又タシ
 又。此法ヲ汝天下ニ流布ルニテ。蒼生サウセイノフクヲニセ。
 是則佛恩フツヲ報ホウシ。師德シトクヲ報スルナルヘシ。義明供
 奉ハ。爰ニシテ傳ヘ。汝ハ東ニ傳フヘシ。付法イニキ
 ナリ。ユメノ、カロクスル事ナカルヘト。念比ニ遺告ユイカウ
 シ給ヒツ、。唐ノ永貞元年。日本ノ延曆廿四年ニ
 當ル。十二月十五日ニ。蘭湯ニアカラス、キ。手ニ法ホウ

印ヲムスヒテ。右脇ニシテ圓寂ニ歸シ給ヒ又。御
 年六十トカヤ。大師ヲハシメ奉リテ。青龍寺。
 大興善寺ノ學徒等。別カクヲ悲カヒミ。德トクヲシタフアリ
 サシ。彼カノ雙林サウリン入滅ノ舊儀キウギ。今爰ニアリ帝ニハ師
 範シタリ。國ニハ父母タリ。一天イツテン悉シツ哀傷アイヤウノ色イロヲ含フク
 メリ。次ノ年正月ツキ中旬チウジュンニ。城ノ東ニ送リツ、墳フン
 墓ホヲ定サシカハ。大師殊ニ。戀慕レンボノ思ニタヘ給ハス
 シテ。則碑ヒノ銘メイヲ作ツクリツ、師ノ德ヲ顯アハシ給ヒ
 ケリ。見聞ノトモカラ。權者ノ師資シシトナリ給
 ヘル事ヲ。嘆タンセストイフ事ナカリキ。碑ヒノ銘メイ

ツフサニ性靈集ニ三ヘタリ。シバラク今テ銘ノハシ

フアク

生也無邊

分影万億

毘尼密藏

牢籠胸臆

國師三代

不日即時

惠炬已滅

痛哉苦哉

行願莫極

爰有挺生

吞并餘力

四分兼法

万類依之

所化緣盡

法雷何春

松檟封閉

麗天臨水

人形佛識

修多與論

三密加持

下雨止雨

怕焉歸真

梁木摧矣

何劫更開



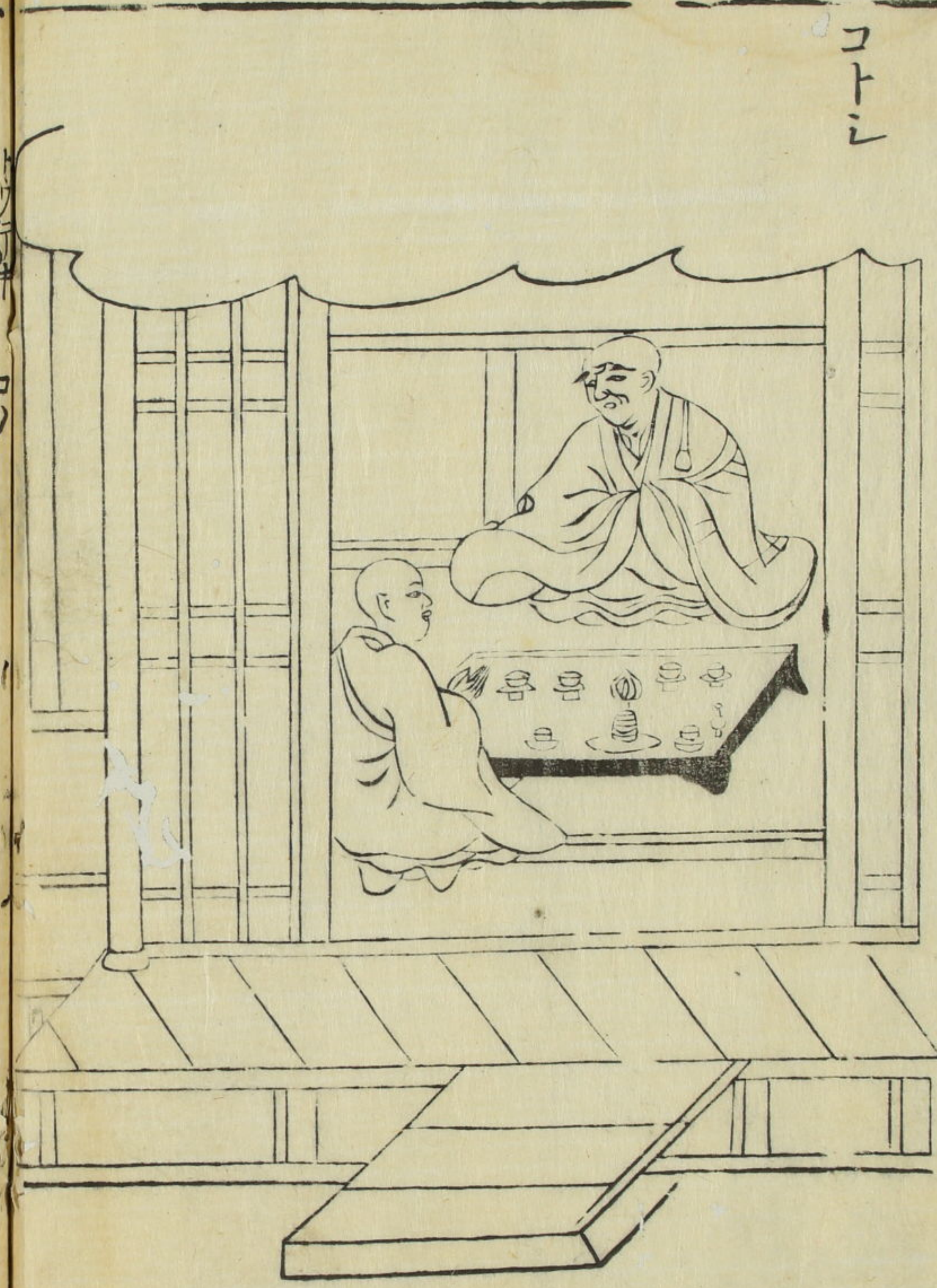


惠果影現事

和尚入滅之給ヒケル夜。大師悲歎、ヒタンツアツリ。道場ニ
 入給ヒツ、紅涙ヲ三衣ノ袂ニツ、クモト三。丹誠ヲ一心ノ底ニ
 コラシ。ヨモスカラ持念シ。給フニ。和尚宛然トシテ。前
 ニ現シ給ヒヌ。夢ニモ非ス。ウツ、ニモ非ス。一度ハ悦ヒ
 一度ハ悲ム。心神ホシタルカコトシ。和尚大師ニ告テ
 ノタニハク。イニタシラスヤ。汝ト我ト宿契ノ深キ
 事ヲ。多生ノ中アヒトモニ誓願シテ。秘藏ヲヒロム。
 爰カシニコニシテ。カハルノ師資トナル事。只 兩
 度ノ三ニ非ス。此故ニ汝ヲス、メテ我深法ヲ授ケ
 受法爰ニヲハンヌ。我願又タリヌ。汝ハ西去ニシテ我足ヲ
 ス。我又東生シテ汝カ室ニイラン。久ク逢留スル事ニカシ
 我先ニサリナント。ノ給ヒテ。カキケスヤウニナリ。給
 ヒヌ。大師則隨喜ノ涙ニムセヒ給ヒケル。彼生々後々ニ
 師資ノチキリ淺カラサル事ヲ悦ヒ給ヒテ。書寫具給
 へル碑ノ文ニモ。

來非我力歸非我志招我以鈞引我以索泛舶之朝
 數示異相歸帆之夕纓說宿緣進退非我能去留陪
 我師孔宣雖泥恠異之說而妙幢說金鼓之夢所以
 舉一隅示同門者也 矣 貴キカナ。菩薩大士ノ方便イ

ツハレル形ヲ顯シテ。三界五趣ノ間ニ遊ヒツ。法ヲヒ
ロメ衆生ヲ度シ給フ。權化不思議ノアリサニ。ニナカクノ
コトシ



投擲三鉢事

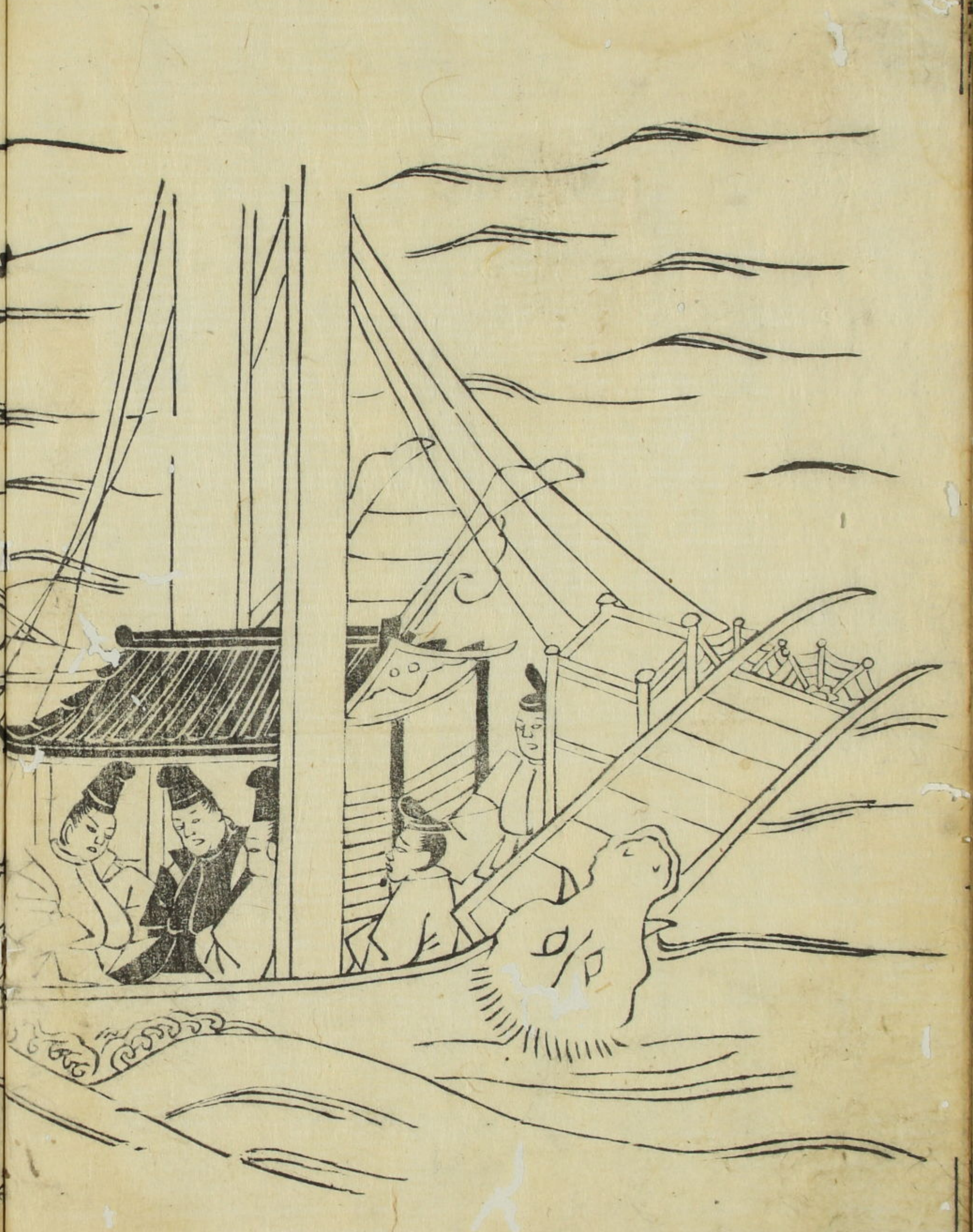
元和元年。日本ノ大同元年ニ當ル。八月ニ大師明州ノ
津ト云所ニテ。船ヲウカヘツ。歸朝セムトシ給ヒシ時。
深ク誓願ヲ發シ。祈念シテノ給ハク。我習フ處ノ密教流
布相應ノ勝地アラハ。此三鉢先ニ至リテ。テンスヘ
シト云テ。日本ノ方ニ向ヒテ三鉢ヲ投アクルニハル
カニ飛テ。雲中ニ入ヌ。至ラン所ハニラサレトモ。願力
ノムナシカラサル事ヲ顯ハセリ。マノアタリ是ヲニル人カニセ
サルハナシ。昔淮南ノ犬忽ニ天ニホリシ。且ノ仙術何ノ益カ
アル。今金剛ノ拵ハルカニ雲ニ飛三密ノ加持仰ク。信スヘシ

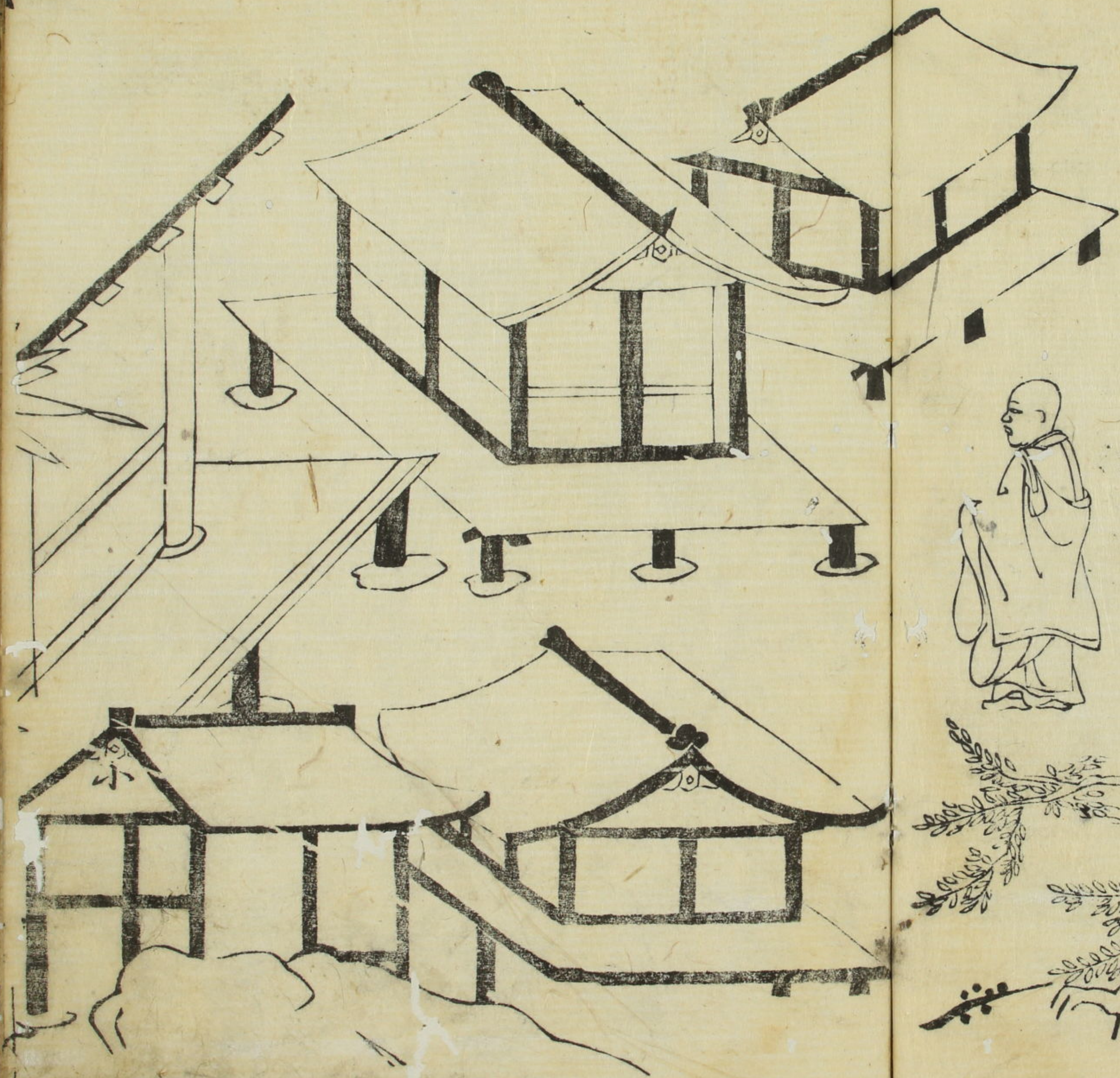




著岸上表事

十月中旬ノ比ヨロ大唐ヨリ請來キウライ給ヘル經論章疏ノ目錄ロクヲ
 シテ大宰大監高階ノ真人遠成ニ付テ。上奏ソウヲソヘラシ
 シ。相傳ノ物ハ新譯ノ經スヘテ一百四十二部。梵字真言ノ
 讚等サントウスヘテ四十二部。論章等スヘテ卅二部。佛菩薩天等ノ
 像一十鋪ホ道具九種阿闍梨付屬ノ物十三種カヤウノ物
 クハシクハ彼録ロクニ三ヘタリ。則天下ニ流布スヘキ由宣セン下有
 トカヤ。邊塞風塞サムク。旅館雪深クシテ。大師上洛ニアタ
 ハス。大同元年ハ筑紫ニテ暮ニケリ。西符逗留ノ程ハ觀クワン
 音寺ニス。廿給フテ。翌年京洛ニ入給フト三ヘタリ。





高野大師行狀圖畫第四



歸朝上表

賀春生木

遠救火災

衆詣御廟

清涼成佛

御柴手水

高雄灌頂

臨河書額

歸朝上表事

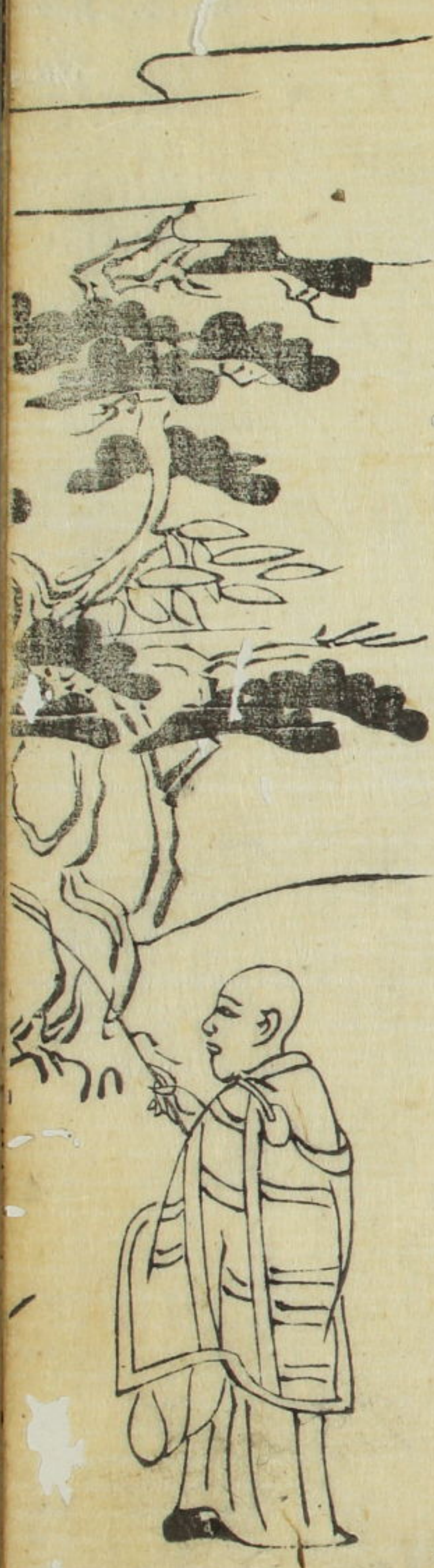
人王五十一代平城天皇ノ御宇大同元年十月二日大師
歸朝シ給フ。御年卅三ナリ。則請來シ給フ處。經論道
具等ヲ一卷ノ書ニシルシテ。表ヲ奉リ奏聞シ給フ。其言
葉ニ云。入唐學法ノ沙門空海申サク。去シ延曆卅三年
ヲ以テ。命ヲ留學ノ末ニ含テ。津ヲ万里ノ外ニ問青龍寺

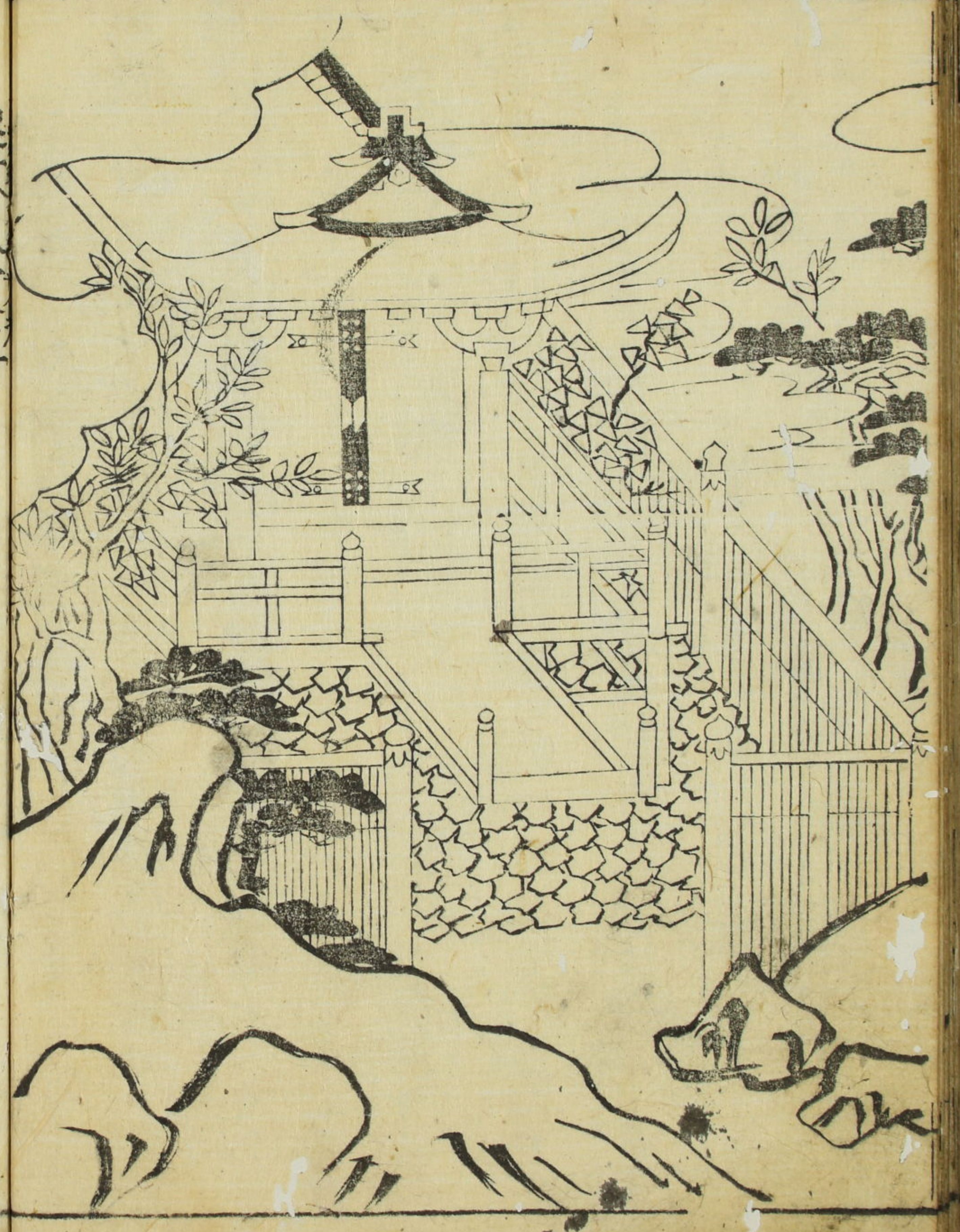
ノ灌頂阿闍梨ニアヒ奉リテ師主トシ。肘行膝歩シテ。
 イマタ習サル所ヲナラシヒ。頭ヲ傾ケ御足ヲ捧テ。未キカサル
 處ヲキク。幸ニ國家ノ大道ヲ頼ミ。大師ノ恩慈ヲ蒙テ。兩
 部ノ大法ヲ學ビ。諸尊ノ瑜伽ヲ習フ。此法ハ則諸佛ノ肝心
 成佛ノ徑路。國ニライテハ城墾人ニライテハ膏腴ナリ。故
 薄命ノ者ハ名ヲタニモ聞ス。重垢ノ者ハ入事アタハス。
 印度ニハ輪婆三藏員。衰ヲ脱躡シ。震且ニハ玄宗皇
 帝景仰シテ。アチハヒヲワスル。密藏ノ宗。是ヨリ帝ト稱
 セラシ。半珠ノ顯教旗ヲ靡シテ。面縛セラルト書給ヘリ。上
 表ノ文ス。尚アリトイヘトモ。コト亦キ故ニ。暫ク略ス。



賀春生木事

カテモ。延曆廿三年ニ。入唐シ給ヒシ時。鎮西ニテ宇佐
 ノ大明神ヲ始奉リ。諸ノ神祇ニ渡唐安穩ノ祈請ヲテ
 シ、時。豊前ノ國ノ賀春ノ明神人ニ託シテ。ノ給ハク。聖人法ヲ
 シモクシ。命ヲカロクシ。ツ井ニ大唐ノサカヒニ趣ク。是誠ニ
 然ルヘシ。我聖人ニ隨ヒツ、入唐シテ必護持ヲナスヘシ
 トアリシカハ。大師誠ニ觀喜シ給ヒキ。彼ヲモムキ忘レ
 カタクテ。大師御歸朝ノ時。賀春ノ明神へ衆リ。寶前ニテ
 申給ヒケルハ。佛法護持ノタメニ。貧道ハルカニ万里ノ波
 濤ヲワタリ。今本郷ニ歸ル。欣悦心肝ニ銘ス。今此山ヲ
 ミルニ。巖石高クタ、ニテ。草木ヲフル事ナシ。貧道此山ニ樹
 ヲ生セムト申給ヒケレハ。明神殊ニ納受ノヨシヲ示シ
 給ヒケル。サテ大師香水ヲ加持シ。アミ子クソ、キ給フニ。
 草木ニケリ。石巖忽ニ青山トソ成シ。千株万株ノ松ノミト
 リハ。タ子ナクシテ。岩根ニ茂ク。一入并ノ花ノヨソホヒハ。ア
 タニヒラケテ神徳ヲカンス。鄧林ノ枝モカクハカリヤハアル
 一キトソミヘシ。其後タエスシテ。今モ茂キ山ニテ侍ルトカヤ

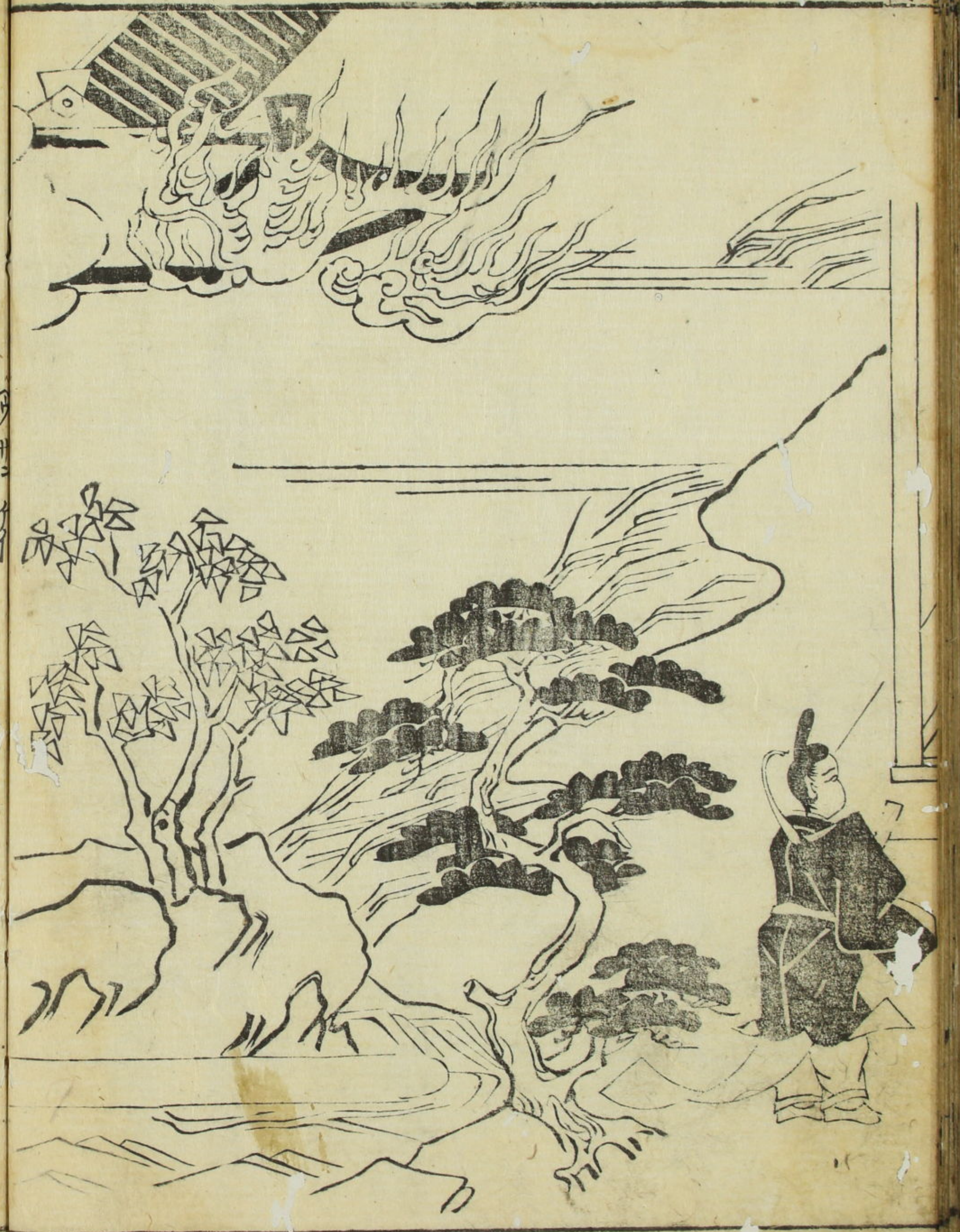




遠救火災事

歸朝^{キテウ}ノ後^{ノチ}勅使^{チヨクシ}大師^{オウシ}ノ御住坊^{ミヅボウ}ニ來^キル事有^{アリ}。大師^{オウシ}西^ニニ
 向^{ムク}テ三度^{サンタク}ニヤ水^{ミヅ}ニ給^{タマフ}フ。勅使^{チヨクシ}其^{ソノ}故^{コト}ヲ問^ト。大師^{オウシ}ノ、給^{タマフ}ハク。
 大唐^{タイタウ}青龍寺^{セイリウジ}ニ失火^{シツカ}有^{アリ}。是^{コト}ヲ資^{タシ}ケシカタメナリ。其^{ソノ}後^{ノチ}
 大唐^{タイタウ}ヨリ書^{カキ}ラ、クリテ。青龍寺^{セイリウジ}ノ經藏^{キヤウザウ}ニ火難^{カクナシ}有^{アリ}。東^{ヒトカヘ}
 方^{カタ}ヨリ雨^{アメ}來^キテ。是^{コト}ヲケストイヘリ





大師上宮御廟參詣事

嵯峨^{サカノ}天皇^{ミコ}ノ御宇。弘仁元年。大師^{カウチ}河内ノ國靈處^{ケイ}ニ道場^{ミチノヤウ}ヲ立テ籠^{コモ}リ居給ヒシカ。百箇日ヲカキリテ。聖德太子ノ御廟^{ミヤ}ニテ給ヒヌ。其九十六日ト云ケル夜。御廟ノ前^{マエ}ニテ。懇^{コソコロ}ニ法施^{ホツセ}シ給ヒシニ。イト夜更^{フチ}テ後。大般若ノ理趣^{リユ}分ヲ誦^{シユ}スル者有。其聲タヘナル事イハムカタナシ。大師^シ祈念^{キナシ}シテノ給ハク。此微妙^{ミウミョウ}ノ聲^{コエ}ハ誰人^{タレ}ノオス處ソヤ願^{ネガハ}クハ我ニ示^シシ給ヘトアリシカハ。廟窟^{ベウクツ}ノ前^{マエ}ニ光明^{クワウミョウ}ヲ現^{ゲン}シツ。光リノ中ニ聲有テ云ク。我ハ救世^{クセ}觀音^{クワンイン}ノ垂迹^{スヰセキ}也。衆生ヲ利^キセシタメニ。安養^{アンヤウ}世界^{セカイ}ヲ捨^{スツ}テ。此

穢土ニ來ル。我母后ハ本師弥陀如來ノ化身。我后
 八大勢至菩薩ノ垂迹ナリ。三尊契ヲ結テ三骨
 ヲ一廟ニ納ム。守屋カ邪見ヲクタクキ。佛法ノ威德
 ヲ顯シ。四十六所ニ加蓋ヲ立テ。一千三百餘人ノ
 僧尼ヲ化度セリ。断惡修善ノ道。漸ク三千ヌト
 示シ。勝鬘等ノ大乘ノ要文ヲ説給ヒケレハ大師
 殊ニ觀喜シ給ヒテ。我今一ノアタリ見佛聞法ノ千
 カラニヨツテ。第三發光地ヲ證ストソノ給ヒシ。大
 師ヲ三地ノ菩薩ト申事。唐朝ニテモ有ケレトモ
 三ツカラノ給ヒケル事ハ此時成ケリ



清凉殿宗論事

大師都ミヤコニホリ給タマハフテ後ノチ相兼アヒアル處ノ真言教マコトノミコトノミノソヒロメ
 給タマハヒケル此法ハ如來ノ秘密ヒミツ諸佛ノ内證ウチノシニシテ即身成佛ノ
 旨ミチヲ人國ヲ治メ人ヲ利スル事七宗ニユヘタル由ヨリヲ奏ソウシ給タマハフ
 此時顯綱ケンカウニカ、リテ密教ヒミツノミチノ法水ヲナメサル諸宗ノ學徒
 アラソヒヲナシテ是ヲユルサル其ノムシコホリノ氷コホリヲウタカハシ
 カコトシカ、リシカハ大師并ナラヒニ諸宗ノ名德メイトクヲ清凉殿ニ
 メサシテ。ヲノク我宗ノ深旨フシシヲ對論タイロンセラル法相ホウサウニ源仁
 三論サンロンニ道昌ドウチャウ天台テンタイニ義真ギシン華嚴ケガンニ道雄ドウユウ彼カノト是コノト當
 代ノ名近メイキンナレハ天テンヲ驚オドロカスハカリナリ。或アルハ五性ゴセイハ不フ
 ホコサキヲト、ノヘテ論難ロンナンヲアラソヒ。或アルハ三諦サンテイ十玄ジュンゲンノ陳
 ヲハツテ勝負セウブヲ決キセムトス。諸宗シュシュウヲ歎タタトシテ大師獨頓ドクトン頓覺トンカク
 成佛キョフフツノ深旨フシシヲ述ノルニ弁ヘン舌ゼツノイイツツミミヲワカシルフルナノ弁ヘン舌ゼツ
 ニモ過智スギチ惠ケノ燈トモ光ヒリ明アキラニシテ。釋尊シヤクソンノ示現ジゲンカトヲホユ頓
 覺カクノ旨ミチ。文義モンギ爰アスニ顯アスシ。神通シンツウノ教ケウ深理フシリンアラタニキハル誠
 二寂上サイジヤウ乘チヤウノヲモムキ。諸宗シュシュウニユヘタル事コトヲシリヌトイト下ゲモ。
 猶ナウ即身ソクシン成佛キョフフツノ道ミチ。各疑ウタガヒヒヲ胸中ナウヂウニツツ、メリ。爰アスニ大師其
 實證ジツシウノ躰テイヲ顯アスサンタメニ南方ニ向ムクツテ。手ニ大日オホヒツノ印インヲ
 結ムスヒツツ、ハハラク觀念クワンネンニ給タマハフニ。父母フモ所生ショシヤウノ肉身ニクニシ。忽タダニニ
 金色コンシキノ毘盧ヒル遮那セナ佛ブツト成ナリカウヘノ上ウヘニ五佛ゴブツノ寶冠ホウクワンヲイ

夕、キ。身中ヨリ金色ノ光リヲハナツ。穢土ヲ出スシテ淨
 土ノ相ヲアラハシ。凡身ヲ捨スシテ佛身ヲ現シ給ヘリ。然間
 主上席ヲサリテ。礼ヲナシ。臣下カウベヲタシテ。拜敬シ。諸
 宗ノ賢哲疑謗ノ舌ヲニキ。隨喜ノ掌ヲ合せ。見聞ノ人
 身ノ毛イヨタチ涙ヲソ流シケル。大師暫有テ本ノ
 形ニナリ。生佛不二ナル旨ヲ顯シ給ヒ又。其後真言宗
 ヲ以テ。七宗ノ最上ニヲカレシカハ。大師獨 帝ノ御
 師ト成テ。朝ノ歸敬是深シ。歎宗ノ僧モ三十大師ノ門
 人ト成ツ。秘密ノ深法ヲ受灌頂ノ壇ニ望ム。真言





御柴手水事

大師御出家ノ本縁ヲ思食泉州槇尾山ニ暫ク止住シ
 給ヒシヲ。大同四年ニ官符有テ。京都ニ住シ給ス。キ
 由。宣下セラレシカハ。都へ上リ給ヒキ。此槇尾寺ニ住
 給ヒシ比。水トホシカリケルニ。神呪ヲ誦シ。平地ヲ加
 持シ給ヘハ。清水流出テ。永クタヘス。智惠水ト名付タ
 リ。又檜木ノ葉ヲ以テ。御手ヲスリキヨメ給ヒ。椿
 ノ上ニナケサセ給フテ。我願ハタシトクヘクハ。此木ノ
 ハ彼木ニ付ヘシトノ給フニ。ヒノキノハ椿ノ上ニ生付
 テ。枝ヲカハシ葉ヲ交ヘテ。今ニ有。柴手水ト号ス。其

水ヲ結ヘ三解脱門ノ月光リヲウカヘ其樹ニ觸ル五
 分法身ノ風白ヒラソフ。此處ニ至ル者誰カ巨益ヲ請
 サラン其後山城ノ國高雄寺ニ住給ヒケリ



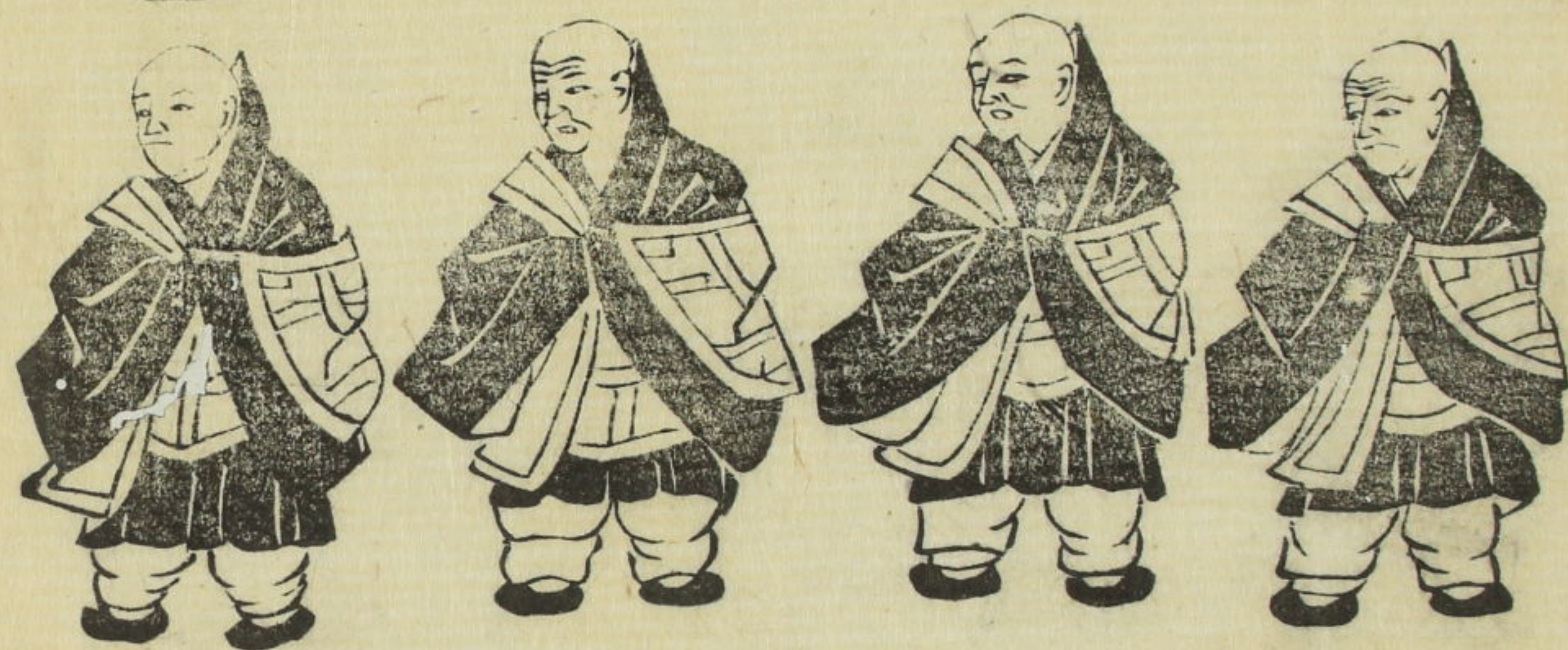
高雄灌頂事

弘仁三年十一月十五日高雄ノ神護寺ニライテ始テ
 金剛界ノ灌頂壇ヲ開テ道俗ノ衆ニ授ケ給ヒキ。傳
 教大師受者ノ上首トシテ。是ヲ受給同十二月



十四日胎藏界ノ灌頂ヲヲコナヒ給フ。傳教大師又
 同是ヲ受給フ。受者惣シテ一百十五人ナリ。兩部
 都會ノ灌頂。此時ニ始テ傳リキ。傳教大師其後。
 弘仁四年正月ニ。圓澄和尚ヲ以テ。大師ノ御弟
 子ニ衆サセ給フ。受法ノ弟子寂澄トユソ遊サレ
 侍ル。上古ハ幽玄ニシテ世スナヲ成ケルニヤ。德
 アルハ徳ヲシリ。互ニ是ヲ貴フ。末代ハ根濁ニシ
 テ。人偏執ヲ先トシ。失ノ上ニ失ヲ顯ハシ。俱ニ是
 ヲ嘲ル。カナシムヘシ歎クヘシ。アラタメスニハ有ヘ
 カラス







隔河書額事

イツノホトノ事ニヤアリケン。大師ニ金剛定寺ノ額ヲカ、
 シメ奉ラシタメニ。高雄山へ勅使ヲ立ラレケルニ折節霖雨
 ノ比ニテ。清瀧川ノ水ヲヒタ、レク岸ヲヒタシタルニ。渡ル事ヲ
 得スシテ。トカク思ヒワツラフ處ニ。大師ホノカニ此事ヲ聞
 給ヒテ。川ノ西ノキハニ。出向ヒ給ヒタリケレハ勅使ハ東ノ岸ニ
 居テ額ヲサ、ケタリケルニ。ハルカナル川ノ面ヲ隔テ、
 大ナル筆ニ墨ヲ染テ。是ニ向ヒテ書給フ。ソノ墨キリ
 ノコトクニシテ。額ノ面ニ降カ、リケル。垂露ノ點アサヤ
 カニ顯レテ。入木ノイキホヒニタレストソ。申傳ヘタ。

